

平成 28 年 4 月 1 日
自動車局

「タクシー革新プラン 2016 ～選ばれるタクシー～」の策定について

～「新しいタクシーのあり方検討会」最終とりまとめ～

タクシー事業について、事業者が主体となって事業活性化に積極的に取り組み、現下の課題や利用者ニーズの多様化に的確に対応するため、昨年（平成 27 年）1 月に、自動車局に「新しいタクシーのあり方検討会」を設置しました。

今般、その最終とりまとめとして「タクシー革新プラン 2016 ～選ばれるタクシー～」が策定されましたので、お知らせします。

<「タクシー革新プラン 2016 ～選ばれるタクシー～」の概要（詳細は別紙）>

◆ タクシー革新に向けた取組

1. 生産性の向上

- ① 効率的な供給 ⇒ 「タクシー特措法」に基づく需給バランスの改善 等
- ② 収益の拡大 ⇒ 価値ある付加サービスに対する適正な料金の設定 等
- ③ 人材の確保・育成 ⇒ 新卒・女性等、多様な人材の採用拡大 等

2. サービスの向上

- ① 高度化 ⇒ ITを活用した運転者評価、降車時の決済手続フリーの実現 等
- ② 国際化 ⇒ 初乗り運賃の短縮・引下げの実施 等
- ③ 多様化 ⇒ 観光タクシーの充実・プライベートリムジンの導入 等

3. 安全・安心の向上

- ① 悪質事業者・運転者の排除 ⇒ 監査機能の強化、運転者登録制度の拡大 等
- ② 地域の安心の確保 ⇒ 自治体や警察等、関係者との密接な連携 等

◆ タクシー特措法のフォローアップ

以下の項目を「見える化」（毎年度 8 月目途に公表）

適正化：賃金（労働分配率、時間あたり支給額）、平均車齢等の改善状況

活性化：バリアフリー、外国語、スマホ配車等への対応状況

【資料の入手方法】

- ・国土交通省自動車局HP (http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk3_000067.html)
- ・国土交通省自動車局旅客課内で配布

【問い合わせ先】

国土交通省自動車局旅客課 佐々木・佐藤（代表）03-5253-8111（内線 41242、41243）
（直通）03-5253-8569（FAX）03-5253-1636

「タクシー革新プラン2016 ～選ばれるタクシー～」概要 (平成28年4月1日)

I. 現状と課題

タクシー事業においては依然として厳しい経営状況が見られるが、この状況が継続・悪化すれば、輸送サービスの停滞を通じて経済活動・国民生活に支障を及ぼす可能性があり、これを未然に防ぐことは急務。

事業の経営基盤の強化・安定的な輸送手段の確保を図るためには、人口減少や高齢化、訪日外国人の急増、IT技術の発達といった環境の変化を踏まえつつ、地域の特性・利用者ニーズに即したサービスを提供する等により、従来の事業を革新する必要。

これを踏まえ、平成27年1月に国土交通省自動車局に設置した「新しいタクシーのあり方検討会」においてタクシー事業を巡る諸課題及び今後のタクシーのあり方について議論を重ね、今後の取組をとりまとめた。

II. タクシー革新に向けた取組

1. 生産性の向上

- (1) 効率的な供給
- (2) 収益の拡大
- (3) 人材の確保・育成

2. サービスの向上

- (1) 高度化
- (2) 国際化
- (3) 多様化

3. 安全・安心の向上

- (1) 適切な評価・監査等による悪質事業者／運転者の排除
- (2) 地域の安心の確保

III. 適正化・活性化の着実な推進

**タクシー特措法
フォローアップ**
毎年度8月目途に公表

- 適正化：実働実車率、賃金（労働分配率、時間あたり支給額）、運転者負担、平均車齢等の改善度
- 活性化：バリアフリー、観光客、外国語、スマホ配車、クレジットカード・電子マネー決済等
- 評価制度の創設：労働環境の改善やサービスの向上に係る取組が顕著な地域・事業者を表彰

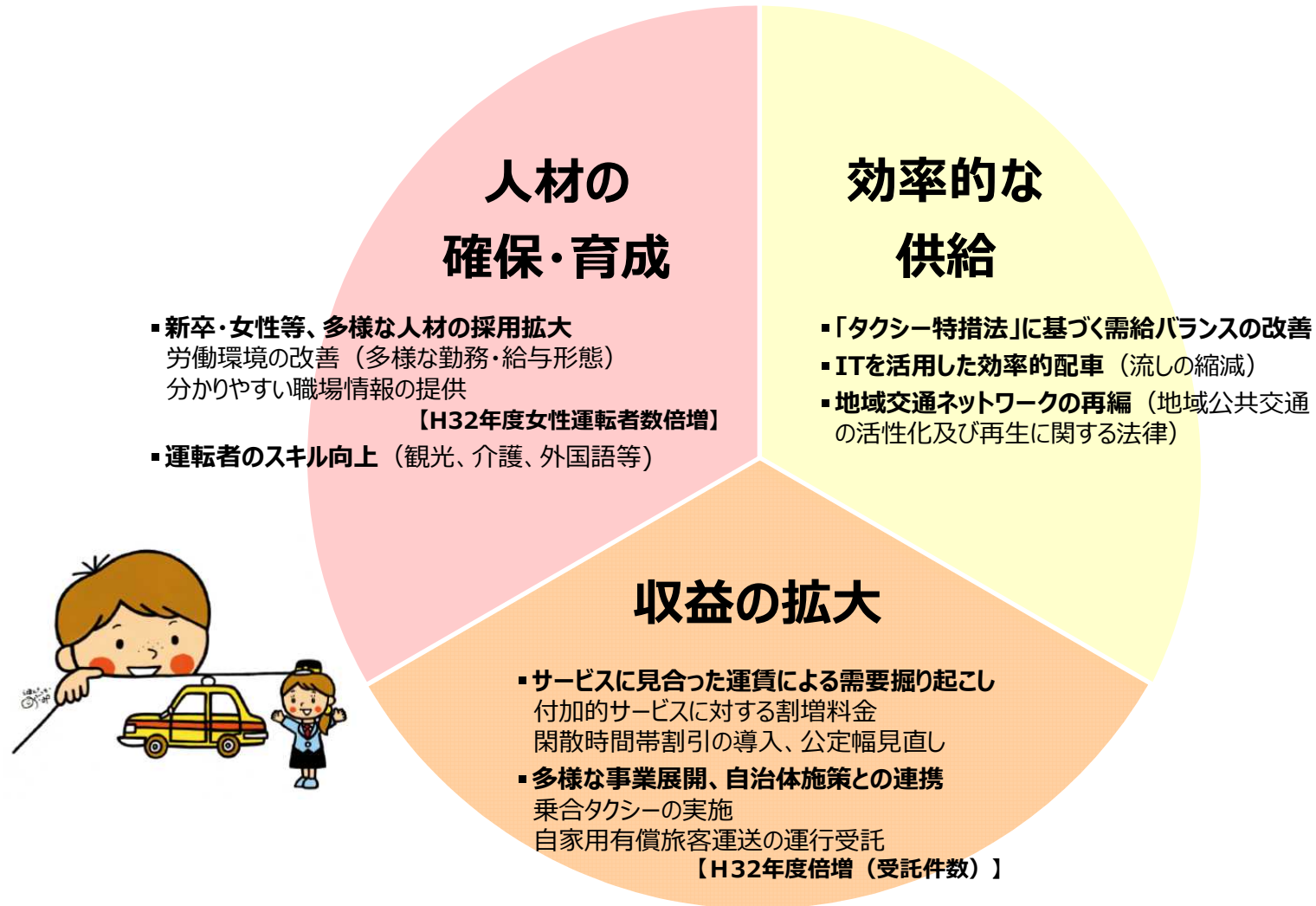
「新しいタクシーのあり方検討会」委員 (敬称略、順不同)

山内 弘隆 一橋大学大学院商学研究科教授【座長】
太田 和博 専修大学商学部教授
鎌田 耕一 東洋大学法学部教授
水町 勇一郎 東京大学社会科学研究所教授
河野 康子 (一社)全国消費者団体連絡会事務局長
宇佐川 邦子 (株)リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンターセンター長
楓 千里 (株)JTBパブリッシング 取締役 ノジュール事業担当

栗原 博 日本商工会議所 流通・地域振興部長
児玉 平生 毎日新聞世論調査室委員
佐々木 達也 読売新聞東京本社編集委員兼調査研究本部主任研究員
富田 昌孝 (一社)全国ハイヤー・タクシー連合会会長
木村 忠義 (一社)全国個人タクシー協会会長
川鍋 一朗 (一社)東京ハイヤー・タクシー協会会長
田中 敬子 すばる交通(株)取締役副社長

今村 天次 全国自動車交通労働組合総連合会書記長
手水 辰也 全国交通運輸労働組合総連合ハイタク部会事務局長
松永 次央 全国自動車交通労働組合連合会書記長
藤井 直樹 自動車局長 (田端 浩 自動車局長)
持永 秀毅 大臣官房審議官 (若林陽介 大臣官房審議官)
鶴田 浩久 自動車局旅客課長 (寺田吉道 自動車局旅客課長)

1. 「生産性の向上」



2. 「サービスの向上」

高度化



- 配車から目的地到着までスマートなサービス提供
利用者によるタクシー選択・評価
運賃・時間予測、キャッシュレス決済、Wi-fi対応等
- バリアフリー化（UDタクシー車両）
【H32年東京で25%、H42年全国で50%】

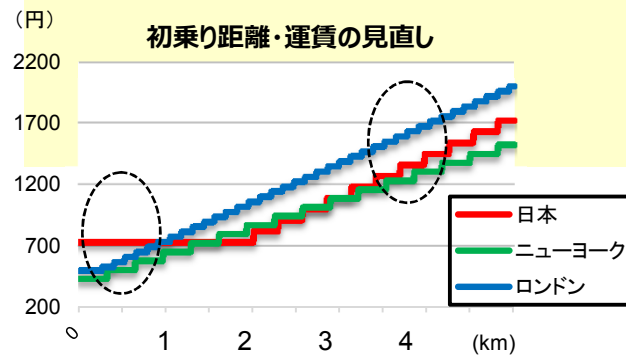


NV200（日産）

JapanTAXI（トヨタ）2017年秋以降

国際化

- 外国語対応の強化
【H32年度東京で外国語研修受講者数倍増、
多言語翻訳機25%】
- 日本のタクシー運賃の割高感解消
【H29年度東京23区で
初乗り運賃の短縮・引き下げを実施】



外国語対応タクシー

多様化

- 観光客・富裕層向けサービスの充実
自治体、観光関係団体、商工会議所等との連携
個人向けハイヤーサービス(プライベートリムジン)
【H32年プライベートリムジンを全国で導入】
- 妊婦・子ども向けサービス



ハイヤーサービス

